

図書館だより

ほくと 75 号

八王子北高校図書館

2024 年 1 月

2024 年がスタートし早いもので 1 カ月が経ちました。皆さんは年頭に今年の目標を立ててみましたか？
あっ！決めてなかったという人も大丈夫、今からでも間に合いますよ。

ちょっと提案なんですが、「今年は図書館に行ってみよう」というのはいかがでしょうか。

新着図書

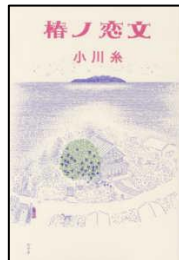
『星を編む』 風良ゆう著



昨年の本屋大賞受賞作

『汝、星のごとく』の続編。気になったあの二人の関係や二人を支えてくれた先生は？さてその後の展開は

『椿ノ恋文』 小川糸著



鎌倉で代書屋を営む鳩子。手紙の魅力をこれでもかというぐらいに書かれています。大切な人への手紙の代筆、ドキドキします。

『おわかれはモーツァルト』 中山七里著



盲目のピアニストがショパン・コンクールで2位に入賞し話題となったが。盲目を芝居だと絡んだフリーライターが銃殺される。一転犯人扱いされるピアニスト

『宙わたる教室』 伊与原新著



新宿にある都立高校の定時制に集まった、様々な事情を抱えた生徒たち。彼らは「科学部」を結成し、「火星のクレーター」を再現する実験をはじめた。

『鏡の国』 岡崎琢磨著



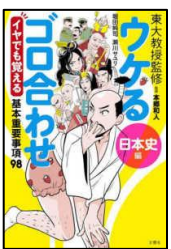
大御所作家の遺稿をめぐる、予測不能のミステリー。「鏡」というモチーフで人間関係ドラマを描く巧みな構成になっています。

『ホロコーストを生き抜いた6人の子どもたち』



ヒトラーが率いるナチス・ドイツのもとで何百万人ものユダヤ人への迫害が起きました。その過酷な中で生き抜いた子どもたちの実話

『ウケるゴロ合わせ・日本史編』



日本史の年号って覚えるの大変じゃないですか？この本ではギャグマンガを読むようにサクッとはいってきますよ。

『マンガでなるほど名画』



西洋絵画は日本人にあまりいられていない話や文化を前提に描かれています。そこを押えることが出来るゆるっとした名画の説明です。

『疲れた人に夜食を届ける出前店』



とある町の片隅にひっそりとたたずむ夜食の出前店。夜食のレシピに笑えて泣けて、元気が出る話です。

『八月の御所グランド』 万城目学著



1月に発表になった
直木賞受賞作

友人に付き合って草野球大会に出場した男子学生が、死んだはずの名選手らしき人物に出会い、ともにプレーするというファンタジー小説です。

『ダーウィン事変』 うめざわしゅん著



司書一押しの漫画

やっと6巻がでました！

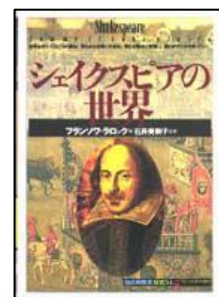
「マンガ大賞 2022」大賞

半分ヒトで半分チンパンジー

チャーリーの成長とともに巻き起こる事件にハラハラしたり、うるっとしたりのヒューマンドラマです。

シェイクスピアの世界へようこそ

12月に鑑賞したシェイクスピア「ヴェニスの商人」はいかがでしたか？
せっかくなので、シェイクスピアの世界にもう少し触れてみましょう！



シェイクスピア,ウィリアム



イギリスの劇作家、詩人。

俳優兼劇作家として劇団に所属し活動。

生涯 37 編の戯曲、2 編の長詩、ソフネット集に収録されている 154 編の詩を書いた。

現在もなおシェイクスピアとその作品の両方が、学者たちの研究を、そして俳優たちの演技と作家たちによる新しい戯曲や小説を次々と生み出している。

参照『世界人名辞典』岩波書店 p408

『ポプラディア』ポプラ社 p14

—主な作品—

4 大悲劇

『ハムレット』『オセロ』
『リア王』
『マクベス』

喜劇

『夏の夜の夢』
『ヴェニスの商人』

歴史劇

『リチャード三世』



まんがで読破
シリーズ



Pick
up

『世界文学あらすじ大事典』横山茂雄/石堂藍監修

『世界文学あらすじ大事典』には
シェイクスピア作品のあらすじも記載
されています。

いきなり海外文学を読むのは大変…

何から読もうか悩む…

そんな時は、あらすじを読んでから決めるのも一つの手ですね。

R 書架にあります、見つからない場合はお声かけ下さい！



イラストありだから小説
より気楽に読めるかも？

—お知らせ—

雑誌を差し上げます！



今年度の雑誌一年分を図書館前廊下に配置致しますので、ご自由にお持ち下さい。

早い者勝ちです！お好きな雑誌がありましたらお早めに～

差し上げ期間：2月7日(水)～3月22日(金)

